

## 1. はじめに

### 1-1 背景

有松は名古屋市緑区の名鉄有松駅を出てすぐの場所に位置している。歴史的には江戸時代のはじめに東海道の旅人の安全と保護のために設けられた集落で、その集落への移住者である竹田庄九郎が考案した技法が有松絞りであるといわれている。

有松絞りは東海道の旅人への土産物として売られ始め、やがて尾張藩の特産品として広く知られるようになり、明治以降も新たな技法が開発されるなどして発展を遂げた。100種類以上の絞り技法や染色技法があり、伝統工芸品に指定されている。しかし、有松絞りの技法は1人が一技法を習得する形で引き継がれているため、後継者がいなくなればその技法は途絶えてしまう可能性がある。

一方、伝統的な町屋が並ぶ有松地区は、2016年に伝建地区に指定され、さらに2019年には名古屋市として初めて日本遺産に認定され、伝統的技法による商品や建築物に加えて、現在では絞り技法を活かした新たな商品や、町屋を利用したカフェなども生み出されている。

これらの新旧の町の魅力を伝える媒体を探してみると、歴史建物紹介、飲食店紹介などに特化したものはあるが、有松絞りそのものの技法を中心とした有松地区の魅力を伝える媒体は見当たらないことがわかった。

### 1-2 目的

そこでこの研究では、有松地区と絞り技法の魅力、歴史的価値、そしてその現代的魅力と価値を、より多くの若い人に知ってもらえることを狙いに有松地区の魅力を紹介するInstagramを企画することとした。

### 1-3 方法

研究の方法は以下のとおりである。

①基礎資料の収集（有松・鳴海絞会館ホームページ検索、既存のガイドブック等）②参考事例収集（地域活性化関連Instagram等）③掲載予定の店舗等への訪問・取材（アポイント訪問、写真撮影）④Instagram作成（改善点、閲覧者からの意見収集）。

## 2. 諸活動の概要

### 2-1 活動の流れ

実施した主な活動は以下のとおりである。

3～5月 有松地区関連既存資料、参考資料収集

3月 「まり木綿」取材

7月 「有松ゆかたまつり」参加

8月 「竹田嘉兵衛商店」取材  
「suzusan」ワークショップ参加

8月下旬 Instagram開設

9月 Instagram投稿開始  
「嵐絞り体験」参加・投稿

9～12月 職人への取材、掲載店舗・施設訪問・投稿

10月～11月 「晩秋の有松を楽しむ会」参加

### 2-2 活動内容と意見収集

個人で活動している絞り職人等に企画説明を行い、取材し、Instagram投稿許可を得た。8月には実際に有松絞りを体験するため嵐絞りの早川嘉英さんや「suzusan」のワークショップに参加し投稿した（写真1、2）。また「有松浴衣祭り」に参加した際に出会った竹田嘉兵衛商店の竹田嘉兵衛会長に許可を得て、後日取材を行った。10月からは有松・鳴海絞り会館の絞り実演が再開されたので、伝統工芸士の方々へ取材し、許可を得て投稿した。この他にも飲食店、商店なども取材し、投稿した。



写真1 手蜘蛛絞りの体験

写真2 嵐絞りの体験

写真3 絞りの実演

### 2-3 SNS 発信

①発信媒体はInstagramである。発信内容が一目でわかるように建物や店舗の名称を大きく表紙に記載した。また画像の内容がわかるように文章での補足説明も加えた。

②発信内容は、「有松絞りの技法と職人」「有松絞りを扱う商店と商品」「有松絞り関連のイベント」「伝統的建築物」「飲食店」の5つのジャンルとした。

③「有松絞りの技法と職人」では、嵐絞りを復活させた早川嘉英さん、「まり木綿」で板締め絞りの作品を販売する伊藤木綿さん、村口実梨さん、手筋絞りで伝統工芸士取得を目指す大須賀彩さん、縫い絞りの伝統工芸士荒川叶絵さん、手蜘蛛絞りの伝統工芸士高橋瞳さん、などを紹介している。技法が伝わりやすいよう動画も合わせて掲載した

(図1)。「縫い絞り」の動画掲載に対して、閲覧者からは、『貴重な動画をシェアしてくれてありがとう!』といった反応があった。

④「有松絞りを扱う商店と商品」では、「まり木綿」「Aya-irodori」「suzusan」「cucuri」「井桁屋」「絞りの久田」などなどを紹介している(図2)。「Aya-irodori」や「まり木綿」ではカラフルな色で染められた有松絞りの雑貨や衣服等を販売している。「suzusan」や「cucuri」は絞りを施した衣服を主に扱っているブランドである。「suzusan」は海外でも活躍しており、「cucuri」は県外にも展開されている。「井桁屋」や「絞りの久田」では伝統工芸士が絞りを施した反物が多く販売されている。

⑤「有松絞り関連のイベント」では、「有松ゆかた祭り」「秋季大祭」「晩秋の有松を楽しむ会」などなどを紹介している(図3)。「有松ゆかた祭り」では有松絞りの反物等の商品が販売され、また小さな屋台が並んでいた。また「秋季大祭」では三輦の山車が展示され、「晩秋の有松を楽しむ会」では一か月間毎週土曜日と日曜日に様々なワークショップが催されていた。

⑥「伝統的建築物」では、「竹田住宅」「岡家住宅」「服部家住宅」「中濱家住宅」「棚橋家住宅」「神功皇后車の山車庫」「中町唐子車の山車庫」「小塚家住宅」「服部幸平家住宅の蔵」などを紹介している。イベント等で建物内に入れた際には内部の写真も合わせて投稿した(図4)。

⑦「飲食店」では、「庄九郎」「KOMASA」「カフェテリリュージュ」「町屋カフェ MADO」「空庵」「ダーシェンカ蔵」などを紹介している。主に店舗の人気商品を掲載した(図5)。例えば「カフェテリリュージュ」では有松絞りの藍をイメージした「藍ラテ」を掲載し、「庄九郎」では「庄九郎ランチ」の色鮮やかな手まり寿司を掲載した。

この発信が、有松地区の魅力を知ってもらうきっかけとなることを願う。

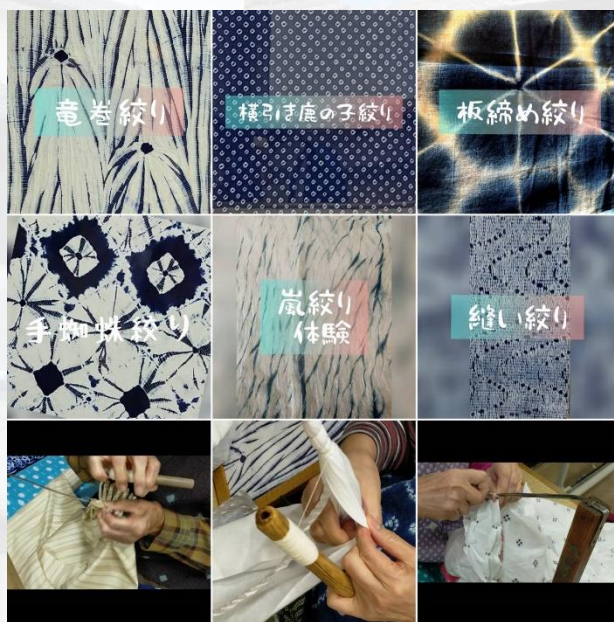


図1 「有松絞りの技法と職人」



図2 「有松絞りを扱う商店と商品」



図3 「有松絞り関連のイベント」



図5 「飲食店」



図4 「伝統的建築物」